

ひだまり

2018年11月号
建交労女性部発行
東京都新宿区百人町4-7-2
Tel 03 (3360) 8021

長野
別所温泉

女性部第19回定期大会を開催

11月3日午後2時より、長野県別所温泉「上松屋」にて女性部第19回定期大会を開催、11都府県から32名が参加しました。

開会挨拶と議長選出を江部委員が行ったあと、加藤女性部長、角田中央執行委員長、長野県本部の郷津委員長から挨拶がありました。全労連女性部からの激励メッセージを金丸委員が紹介、続いて井上事務局長が18期経過報告と19期方針提案を行いました。経過報告では、平和・憲法を守る活動を中心にとりくんだことなど、方針では300万署名行動を強めることや「働き方改革」による長時間労働などを職場に持ち込ませない運動、高齢者の仕事確保のとりくみ、保育・学童保育の制度充実と各職場での労働条件改善のとりくみ、すべての争議の早期解決をめざすとりくみなどが提案されました。また会計報告と予算案の提案を福原委員が行いました。

後半、参加者からの活動報告の後、小島委員が大会宣言を提案、今期の役員体制提案と合わせて議案提案がすべて一括承認され、閉会挨拶を秋月委員が行い、加藤部長の音頭による「団結がんばろう」で締めくくられました。



左から小川さん(徳島)、藤巻さん・岩崎さん(埼玉)、尾崎さん・長縄さん(愛知)、横山さん(東京)



全員集合。撮影はすべて山本由里子さんによるもの。



(上) 挨拶する加藤部長。(下) 角田中央執行委員長。議長は伊藤さん(東京)と市川さん(長野)



↓ (上左から) 現地歓迎の挨拶をする郷津さん、小川さん(長野)。(下左から) 宮出さん・佐々木さん(京都)、多田さん(福岡)



役員



尾崎さん
手作り

部	長	加藤	美沙子	(福島)	(再)
事務局長	井上	玉紀	(徳島)	(再)	
委員	江部	明子	(東京)	(再)	
委員	磯野	紀子	(長野)	(再)	
委員	浜田	玉奈	(愛知)	(再)	
委員	金丸	涼子	(大阪)	(再)	
委員	小島	マリ子	(兵庫)	(再)	
委員	秋月	のり子	(福岡)	(再)	
委員	山本	由里子	(本部)	(新)	
※本部女性部担当	福原	美景子			

★参加者の発言(要旨)★

《愛知》3月総会後半に学習した手話は3つ、「どうしたの」「大丈夫?」「助けようか」。これは職場の仲間づくりに使える言葉だと思う。2020年4月から保育パートが特別職から一般職になることで労働条件引き下げにならないよう取り組んでいることに、正規職員が共感・協力してくれ、その成果で12人の拡大が実現した。

《京都》9月に総会、3月と夏に交流会など毎年同じように開催、オリジナルカレンダーも作成している。関西合同支部では春闘をどうたたかうか毎年アンケートを実施、インフルエンザ予防接種の補助と非正規職員の誕生日休暇の有休を実現させた。

《福岡》大牟田支部民間分会は、これまでたかかってきた仲間の経験が財産だとして、各自の経験を出しあえば学習の成果が生まれると考えている。それを生かした労働相談活動に力を注いでいる。

《東京》19回憲法カフェは「あすわか」の弁護士さんによる憲法の話が身近に聞けた。コーヒーとケーキが好評。女性の建築士は男性ばかりの現場でも自分の力を発揮することができるが、「女性なのに男性にものがいえるんだ」と驚かれることもある。

《埼玉》所沢学童は指定管理者制度導入3年がたち今年度初めて公募制となり、24カ所中9カ所で事業者が変わったことで仕事内容、賃金、方針がかなり変わり、辞めざるを得ない指導員もいる。保育の継続が絶たれることは重要で、一時金も下がったりしたけど何とか頑張っている。

《徳島》職場では入所数が満杯なのに指導員のなり手が無い。こないだまでパート時給750円だったが、最賃違反なのでやっと800円になった。父母の役員が熱心ならいいが、なかなか正規の賃金まで目を向けてくれない。

《福島》高田支部の事業団は高齢のため今夏午前中のみの仕事とした。休むと賃金減るため病気でも働く人もいて、働かねば食べていけない現実がある。3000万署名は1500筆集めたが、原発ゼロ署名は10人で5000筆。金曜行動は11月2日で319回。私はほぼ参加している。

《長野》松本の学童指導員だが県本部委員長をやっている。女性もがんばらねば。県内学童の処遇改善事業で賃金よくなったのは建交労加盟の4か所のみ。もっと拡大していかなければならない。

《新潟》様々な場で女性が発言し実践していくことの困難さがまだあると思う。新潟県母親実行委員会から実行委員にといわれたので積極的にかかわっていきたい。



左から粕川さん(大阪)、細見さん(兵庫)、金丸さん(大阪)



↑リンゴをむく磯野さん、ほおぼる金丸さん、長野手作り物販を楽しむ小川さん



↑上左/長縄さん・尾崎さん(愛知)、小島さん(兵庫)、下左/秋月さん(福岡)、江部さん(東京)、山本さん(本部)



左から福原さん(本部)、和合さん(福島)、永島さん(新潟)、

《大阪》うれしかったことは、組織建設のためのPTが奮闘しこの間拡大できていなかったところが2年間で3職場を結成できたという報告を関西支部大会で聞いたこと。大阪北部地震では心配のお声がけやお見舞いなどいただきありがとうございました。

《兵庫》今年のメーデーでは楽しくデコレーションして賞金もらったので女性部活動の資金になる。西宮支部の公務職場では2020年から「会計年度任用職員」にされるということで労働条件が切り下げられないよう明後日西宮市と交渉する。

《長野家族会》(じん肺根絶)運動を続けて今年で22年。運動が弱くならないようみんなががんばろうと呼びかけている。ここまでこれたのもみなさんのおかげ。また根絶訴訟第6陣が始まるのでよろしくお願いします。

上田散策

11月4日午前、旅館のマイクロナバスと郷津・市川さん車に乗り磯野さんガイドで

上田を満喫。あ〜書ききれません!みなさんの感想文をもって報告にかえます。(井上)

★青年・女性労働者アンケートにご協力ください。詳細は本部・山本さんまで。

山本宣治の碑→安楽寺→常楽寺→無言館
→上田城→上田高校校門→老舗飯島商店

大会 & 上田散策の感想

★大会に参加して★無言館に参加して★その他
(紙面字数の関係で要約の部分あり)

京都・佐々木和子さん

★久しぶり(10年ぶり?)に参加。全国の職場、職種の方のお話が聞けてパワーをもらうことができました。★画家をめざし夢を抱く多くの若者たちが戦場で命を落とした方のエピソードなど見て自然に涙が出てきて、戦争の怖さと、絶対にしてはいけないことを再認識しました。★役員の方や磯野さんには本当にいい大会を計画していただき久々にリフレッシュ!本当にありがとうございました。

徳島・小川千代美さん

★久しぶりの参加。普段他の職業のお話を聞く機会がないので自分の視野が広がったように思います。それぞれ悩みや問題あり改善しようと各地で活動している話を聞いてたくさんのパワーを分けられました。女性部ならではの視点と行動力、強さ、さすがですね。★館内に入ると今まで感じたことのないような雰囲気押しつぶされそうになりました。一枚一枚にどれくらいの思いが詰まっているのだろうか。若くして戦地へ行かねばならなかった無念さ、辛さ、痛み、残されたものの思い、館内いっぱい溢れていました。もっと多くの人に見てもらうべき施設です。★長野の方には大変お世話になりました。事前準備にはじまり、当日のたくさんの企画に感動しました。温泉もよかったです。長野をめぐって楽しむことができました。

東京・伊藤ゆかりさん

★女性の活躍が聞けて良かった。全国大会の話聞くより女性部大会の方が発言の内容が楽しいし参考になるし、力が湧きますね。お菓子も女性部ならではの楽しみですね。★あの時代に奥さんや恋人の裸婦が結構あったことに驚きました。画学生の知識・意識の深さ。私は勘違いしていました。こんなに美術に対して情熱のある方たちが生きていたら、戦争がなければ美術界は変わったと思いました。★上田城を楽しみにしていたので、時間がながかり。でも別に一人で行きます。祭りの最中で出店や忍者体験もできたし建物も見えたかったしやりたいこと沢山ありました。温泉や紅葉もよかったです。



↑上田の学童の仲間たち。高井さん、甲田さん、玉井さん、山口さんが夕食交流会に合流してくれました。



↑上松屋の朝食。夕食に続いてとても賑やか、色鮮やかでメニュー豊富。心もおなかも満腹、大満足!(^^)!

東京・横山恭子さん

★建交労って素敵だなあとしみじみ思いました。各地方のびのびと女性らしい活動に日夜奮闘しているのだなあ。★今回は三度目でしたが別館は初めて。あの戦争では若い人・男性がたくさん亡くなりましたが、無言館の男性の死も戦闘ではない悲惨な最期が多く、どんなにか母親や恋人、妻の元へ帰りたいか、胸が締め付けられる思いがしました。私の知人も戦後結核で亡くなっています。戦争は決してしてはならないのです。★長野県のみなさんのおもてなしには、敬服・感謝です。

兵庫・小島マリ子さん

★女性部の大会は本当に楽しく、各地の報告も元気をもらえます。地元に戻って女性部がパワーを発揮するためにもいろんなところで声を出していきたいです。★きっと戦争に行く直前まで最愛の人を描いていたんでしょうね。才能ある画学生の多くが20歳台で戦死され、絵のほとんどが愛する女性だったように思います。絵を描く喜びを奪った戦争は本当に悲惨です。無言館という名の通り無言で見入ってしまいました。見る側に多く語り掛けられ、戦争を知らない世代に伝えていかねばと思いました。★宿の温泉の入替場と外湯3か所で計5回、温泉完全制覇しました。朝の散歩を兼ねての外湯は気持ちよかったです。お料理もおいしく大自然の素晴らしい紅葉とおいしい空気は大ごちそう。磯野さん、宿交渉から現地視察にパンフ収集等お世話になりました。磯野さんは最高のツアーガイドさんですね。素晴らしい思い出ができ、ありがとうございました。

長野・高井友佳子さん

★お食事のみ参加でしたが久しぶりに玉紀さんに会えたのが嬉しかった。上田学童の仲間角田さん、磯野さんを紹介できたのもよかったです。

長野・玉井友美さん

★地元開催でしたが、仕事の関係で夕食のみ参加させていただきました。お料理がおいしく、食べることに一生懸命で、せつかくの機会にほとんど周りの方たちと交流せずに終わってしまいました。また機会がありましたら今度はみなさんともっと仲良くなれたら…と思います。ありがとうございました。

長野・市川智香子さん

★昨年に続き2回目の参加でした。発言して下さった方一人一人の思いや熱気がストレートに伝わってくる、素直にいろんなことが言える、女性部ならではの雰囲気を感じました。「機関決定こそ最大の礎」という角田委員長の言葉、忘れないでいようと思いました。★以前に来た時とまた違う作品に出会えてよかったです。改めて、戦争で亡くなった兵士一人一人にそれぞれの人生、故郷、家族があったこと、戦地でどんな亡くなり方をされたのか、などいろいろ考えさせられました。スケジュールもあったので、皆さんと感想を分かち合う時間があまりなかったのでやや残念でした。★紅葉の一番きれいなシーズンで、宿の手配から本当に大変だったとも思います。とてもいい温泉に泊まれて、上田の名所もあちこち案内していただいて本当にありがとうございました。遠くからはるばる別所温泉まで来ていただいた皆様、お疲れ様でした。



↑4日朝、磯野さんガイドで上田散策へ。とにかく楽しい！

愛知・長縄いさ枝さん

★各地域の報告に感心するばかりでした。角田委員長が言われたように、女性の発表はわかりやすく活動が身近に感じられ、その人の思いに心が寄り添えるものばかりでした。「建交労女性部はこれでもっっちゃ!!」と参加できてよかったです。★こどもの頃から絵画や美術鑑賞が大好きです。(今回他の人が参加となっても+1で行こうと思っていました。) 展示されていた作品が戦火を逃れ、その後もご遺族が大切に保管されていたことに、亡くなられた作者への思いの深さを感じました。添えられたエピソードを読み胸が熱くなりました。無言館に来場できてよかったです。★(役員、現地長野の) 皆さん大変お世話になりました。大会で元気をもらい、食事はおいしく紅葉も楽しめ、何とんでも「温泉好き」には最高でした。宿の湯も両方、外湯も3か所、付き合っていたいただいた兵庫のお二人に感謝しています。あ～楽しかった♡磯野さんのむいてくれたリング美味しかったです。ガイドもお疲れ様でした。ありがとうございました。

長野・郷津法子さん

★今回女性部大会に参加できて本当に良かったです。実はウツの一手手前くらいにエネルギーが落ちていたので、『開催地だからとりあえず参加』と身体を運ぶのが関の山状態でした。皆さんの顔を見て話しを聞いて、食べて笑って、少しずつ回復していく感覚を味わいました。とにかく本当にありがとうございました！★館内でのこと。少しハイソな雰囲気の老婦人が和服の女性の絵(100号位の大きな絵)の前で涙ぐんでおり、思わず「お身内の方の絵ですか？」と聞いてみると、「ええ。〇〇が“おばさま”を描いたのです。山口からこの絵を見に来たのです。やっとお会いできた…」そして隣に展示されたもう一人の画学生(2人は親友であった由)の思い出も話してくれました。別コーナーに展示された“親友”の画学生の小さなイラスト画は、「この絵はね、〇〇(親友の画学生)が“おばさま”のために描いたものなの。今でも古さを感じないでしょ？〇〇に10枚以上所蔵されているものの一部なの。」私は「本当にさぞお綺麗な方だったのでしょね。」と応じながら、親族の画学生とその親友の画学生と、老婦人本人の“おばさま”という描かれたモデルの女性への思慕がまるで時空を超えたようにリアルに感じられ、何か圧倒される思いがしました。20代で亡くなった画学生たちにはそれぞれの人生があり、親族を失くした人たちにもそれぞれの人生と歴史がある、この一瞬の出会いと短い会話で、圧倒的にその事を知らされたように感じました。



↑安楽寺本堂の裏に建つ国宝八角三重塔前できっかり